

題材名「大きい数をしらべよう」

目標

- ・ 一万をこえる大きな数について、よみ方、かき方、しくみを理解する。

コンピュータを活用する利点

スマートボードに24264個の1円玉を提示することによって、「24264」という数字の多さを実感させる。また、スマートボードの利点を生かし、子どもが考え方を発表する場面で、実際に書きながら、説明できる。そして、大きな紙を黒板に掲示するより、準備の時間が短縮される。

授業の流れ

教師がもらったお金の話を聞き、大きな位への興味・関心を持つ(スマートボードの画面を見ながら)

教師がもらった1円玉だけのお金をそれぞれ数える。(プリントで)

スマートボードにかきながら、数え方を発表する。

大きな数についての問題を解く。

I C T活用場面

子どもは、スマートボードに映し出された多量の1円玉を見て、それが何枚あるのか、数えてみたいと思う。提示されたものと同じプリントを使って、各個人が数えてみる。子どもは、2年生での学習を思い出して、100のまとまりや1000のまとまりを作りながら数える。

発表の場面では、スマートボードに専用のペンで、100や1000のまとまりを作りながら、自分の数え方を説明する。

準備の段階では、100個の1円玉をスキャンし、それをコピーしながら作った。また、プレゼンテーションソフト「パワーポイント」を使い、100のまとまりをクローズアップできるようにした。

成果と課題

2年生の「大きな数」では、よく実際のものを利用して「多さ」を実感させるが、3年生のこの単元では難しいと思っていた。それが、割合簡単な準備でできたと考える。

24264個の1円玉を実際に見てみると、その多さが実感できる。子どもたちも、その多さに驚いていた。

発表の場面でも、実際にスクリーンに書き込めるという目新しさもあって、発表する子も、聞く子も興味を持って、意欲的にできたようだ。

「パワーポイント」の「アニメーション」機能を使いたかったが、スマートボードでは、タッチすると次の画面が現れるという具合にできなかった。

まだ、スマートボードの扱いに不慣れなため、いろいろなことに手間取った。いろんな場面で有効に使い、慣れることが重要であると感じた。

I C T活用環境等

使用周辺機器	スマートボード、プロジェクター、パソコン
使用ソフト名	パワーポイント
使用教室	3年2組教室